

マリナ・シシュ Marina Chiche

南仏マルセイユ生まれ。マルセイユ音楽院でオISTRAフの直弟子ジャン・テメルギアンに師事。16歳でパリ音楽院に入学、ヴァイオリンと室内楽で一等賞を得て卒業。その後、ウィーンでボリス・クシュナーに、またミュンヘンでアナ・チュマチェンコに師事するほか、ジョセフ・シルヴァースタイン、イダ・ヘンデル、ボリス・ベルキン、ジュルジュ・クルタークなどのマスタークラスで研鑽を積む。

これまでに、パリ管弦楽団、パリ室内管弦楽団、リール国立管弦楽団、ロレーヌ国立管弦楽団、ピカルディ管弦楽団、ブルターニュ管弦楽団、ナンシー歌劇場交響楽団、マルセイユフィルハーモニー管弦楽団などのオーケストラと共演、また、ジョン・ネルソン、フレデリック・ロデオ、ジャック・メルシエ、ユーリ・バシュメット、アリー・ファン・ベークフィリップ・ベンダー、エドモン・コロメル、フェイカル・カーロイ等の指揮者と共演。

室内楽では、ジョセフ・シルヴァースタイン、オーギュスタン・デュメイ、ルノー・カブソン、ピエール・ロラン・エマル、ウラディーミル・メンデルスゾーン、ジョナサン・ギラード、ジェローム・デュクロ等と共演。

各地の著名な音楽祭——ドーヴィル、ペリゴール・ノワール、モナコ春の芸術祭、カンヌMIDEM、マントン、サリー・スール・ロワール、シテ・ド・ラ・ムジーク、シャトレ劇場リサイタル、グッピオ、サラソタなどにも登場している。

2003年ADAMI（フランス音楽・芸術家著作権協会）新人賞、2004年、2005年ヴィクトワール・ドゥ・ラ・ミュージック賞ノミネート。

レコーディングでは、ブラームスのソナタ全曲（イントラーダ）がシャルル・クロ賞とレペルトワール特別賞を受賞、エリック・タンギーの室内楽集（トランスアート・ライヴ）も、高く評価されている。最新盤には、イントラーダからバッハの無伴奏ソナタなどのCDがリリースされている。

2013年、トロッシンゲン音楽大学の教授に就任した。2013年12月にはベルリン交響楽団とサン＝サーンスの序奏とロンド・カプリチオーソで共演。

使用楽器は1762年Giuseppe Gagliano（ジュゼッペ・ガリアーノ）。